当初は、片岡小学校

に属する地域だけで

副区長をやっていた私 ま退職して片岡地区の

市

天王祭などのお祭

守っていくことができ はみんなで子どもを見

やっていた盆踊り、暮

例えば、片岡駅前で

を伺いました。

■なぜ事務局長に?

することに。

「たまた

専任の事務局員を募集 務処理が大変になり、

会の役割は?

コミュニティ推進協議

た、石川正夫さんにお話 五年以上陰で支えてき 局長として、協議会を十 多数の記念事業を計画 開きました。そのほかにも 講演会とバレ―教室を さんをお呼びしての記念

事務局長 石川正夫さん 片岡地区コミュニティ推進協議会

触れ合い、 が集まって 域の中に人 議会が、地

化的な生活を

全・健康で文

しています。専任の事務

りました。

このころになると事

いいます

ことには慣れていたと

周年を記念して、元バー 進協議会は、設立三十

ール選手の大林 素子

なり、片岡全域のコミュ 加したいということに 徐々にほかの地域も参 のスタートでしたが、

運用の仕事をされてい 国鉄マン。通信関係の

仕事柄、

事務的な

に声がかかりました」 その石川さんは、元

一ティ推進協議会にな

設立三十周年を迎えた

片岡地区コミュディ推

人。でも、二人がそろう

安がありましたが、

ママたちと話をして

発達段階

に個人差があるの いる中で、

矢板の 元気日

クと引っ込み思案のボクニ ちゃんは顔立ちも性格も違 双子のママ。二卵性の双子 大貫さんは一歳八ケ月の 気が強くやんちゃなボ 成長の遅いことに焦りや不 三ケ月でやっと歩きました。 早く生まれたせいか、一歳 ても役立っているとか。 「うちの子は予定日よりも

園や幼稚園が実施)を利て支援(市の委託で保育せますが、時には、子育 のいたずらっ子になり、 ので、天気の良い日はよ とどちらも元気いっぱい く公園などに行って遊ば 過ぎてしまうそうです。 であっという間に一日が 子どもの面倒を見るだけ ●子どもは外が大好きな ただいま子育て奮闘中 も子さん (扇町)

> 大きなケガを 病があるとか、 は当たり前、持

するわけでも

ないと開き直っ

て子どもを見

ていけるように

げでたくさんのママ友達用することも。そのおか い合って公ができ、誘 園で子ども るのは、公園に平気でたばれて問題になっていた。 なりました」

り、情報交を遊ばせた 換の場とし こを捨てる人がいることで だからやめて欲しいです」 れてしまったことがあり、 す。子どもが実際に口に入 騒ぎになりました。お願い

> 育館などで親子連れが自由 ばせる場所がないので、 また、歩道が狭いため子ど に遊べるとうれしいですね。 すると、「室内で自由に遊 かに気づいたことをお聞き 子育てをしている中で

もを連れて歩くのが大変で す。ベビーカーを押し ければわからない視ます」と、ママでなば安心なのにと思い て自転車とすれ違え ないので、せめてあ

美容室を持つ」のが目標。 ながら、やがては「自分の り双子ちゃんの子育てをし さんは、来年の四月から仕 は続きます。 事に復帰する予定。しっか とも子ママの子育て奮闘 美容師免許を持つとも子

> 農・定住を働きかける事業「か 民家を斡旋(あつせん)し、就 まわぬ暮らし矢板」が九月か ら始まりました。 市農業公社が空き家の古

月五万円(光熱費は別途負 で公社が改修し、体験者が 担)で借り、一ケ月から最 古民家は県の補助金など

指導を受けたり、 市の認定農業者の ることができます。 長六ケ月間滞在す

はじめ各紙に取り上げられ とちぎテレビ、読売新聞を 市民農園の利用も可能です。 たことで、農業公社の二台 の体験の様子が、NHKや の水田修一さん (59)。 そ トップバッターは横浜市

いるそうです の状態になったほど。 二年先まで予約が埋まって 現在

お月見のお誘いなど矢板市

や酒造見学・高原地区での

民の応援も充実。

け入れ農家の作業に加わり、 穫などを体験しました。 玄米の袋詰めやシイタケ収 滞在中は公社の仲介で受

さしく気遣ってくれる。人

「この地域の人はとてもや

情味ある土地柄です」と、

都会とは違った力強い市民 力を感じたそうです。

交流の輪を広げ、 タリティーとプラス思考で 水田さんは持ち前のバイ あんどん

舎暮らし体験隊隊長」を自

水田さんは、矢板の「田

古民家で田舎暮らし

の電話は一時鳴りっぱなし の行事に参加し、 祭りや花火大会などの多数 が行われ、仕事の合間には、 提供や貸し出しのサポ 生活を送ることができたと 大満足の様子でした。 不足した生活道具などの 充実した

近隣の方の案内で市内散策 る仕事です。

た。

と笑顔で話 また来ます」

していまし

郷です。 最後に、

会を作り、

3

い」と語ってくれました。

「矢板は第二の故

く支援活動を続けた 売の手助けなど幅広 広報活動や農産物販 認。横浜に帰っても

安 企画立案する人間、 ことをこなす人間と、 万が必要です。 とういう

■今までの経験からひと

帯意識が、

もコミュニティ協議会 なか見えてこないと思 だ?」と言う人がいま 片岡だけやっているん ね。ときどき「なんで ないとその意味がなか を増やして欲しいです とお願いします できれば泉、矢板で 自分たちでやら

古民家暮らしの水田さ 編集後記 施来**後記** んへの初取材では、 前に用意した質問と違って水田 事 さ んの矢板への熱い思いにと 素晴らしい人 今後とも取材を通じ確かな 市民力をお伝えできるよう頑張り

りがいろいろな事情で にかわりコミュニ なくなりました。それ アィ推進協 るのではないでしょう か?それ以外のことで その地域に住んで いる人々の連

の安全が課題になって 割を担っているのだと ながりが密接な地域で いますが、人と人のつ つながりを作る役 思います。子どもたち せません。 する上で欠か

ちで、行事の下準備の 後の記録、会計処理な をそろえる、終わった 資料作り、必要な品物 ■事務局長の役目は? 完全に縁の下の力持 切を管理す

> 両 ためには、

とても良かったと思い たいと思います。

人が…。 る核になる人が必要で ず、組織をまとめ上げ す。先頭に立ってやる 労を惜しま